

令和7年度 三郷市学校評価システム **本評価:学校関係者評価シート**

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.35	3.38	教育目標「たくましい子」「かんがえる子」「すなおな子」の設定は、知・徳・体を総合的に伸ばし「生きる力」あふれる児童の育成に向けて適切である。学校の課題解決や目標達成のために、教職員が力を合わせて児童のために取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.24		実施した取組の反省を行事ごとに取りまとめている。反省をもとに、授業や行事の計画を改善したうえで実施している。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.18		課題研究「協働的に学び合うことができる児童の育成～探究的に学ぶ国語科の授業づくりと言葉に親しむ活動の充実を通して～」の実現のために、国語科教育に重点を置き、研修や授業研究を通して、重点化を図った。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.24	3.38	学校は、地域の学習材の活用、読書活動、学力向上(国語)を重点化して取り組んだ。地域の方のご支援のもとにした学習の充実を図るとともに、国語科教育の研究に力を入れた。また、「ヒルインデス」では教職員や児童が自分たちの好きなことや得意なことを生かした活動を行い「夢を育む教育」に取り組んでいる。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.76		毎月倫理確立委員会を実施している。教職員が自分事として捉えられるよう、不祥事防止プログラムを活用し進めている。また、打ち合わせ等で教職員事故や行政処分を取り上げ不祥事根絶に向けた意識の高揚を図っている。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.41		教職員のキャリア段階に応じた研修及び本校の課題解決に向けた研修を計画・立案し、研修を進めている。年次研修や校内研修、若手教員研修等、指導力向上を図っている。
授業等の状況	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.35		授業研究会や研修等を通じ、授業改善に積極的に取り組んだ。ICT支援員の協力による研修などを実施し、教員のICTスキルを向上させ、新しい機能を取り入れた授業を実践している。
	8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.12		本校児童の実態を分析し、方策を立てて授業を進めている。タブレットや各種ドリルを効果的に活用し、基礎学力の向上に取り組んでいる。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.35		三郷市「授業の心得」の共通理解は進んでおり、教職員・児童に浸透している。学年・学級の実態によって、項目を重点化し指導している。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.29	3.50	授業中に児童が安心して発言したり力を発揮したりできるような雰囲気が作られている。個別対応が必要な児童に対して、担任だけでなく管理職、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し、組織的に対応している。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.76	3.88	昨年度リニューアルされた学校図書館を活用し、図書委員会の児童による取組や学校応援団(ほっとしよクラブ・おはなしクラブ)の協力による図書館のPRや読み聞かせにより、積極的な読書活動が推進されている。また、読書の木や図書館のイベントなどで読書活動を充実させる取組をして昨年度より貸出冊数を伸ばしている。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.53	3.63	図書部会、図書委員会を中心に、様々な取組を設定し、児童の興味を高めている。学校応援団(おはなしクラブ)や縦割りの読み聞かせ(上級生から下級生へ)等で、児童の心を育て読書意欲を喚起している。
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.18		日頃の指導や栄養教諭・外部講師による授業を積極的に行い、発達段階に応じた食に関する教育を行っている。給食センターの見学や、企業と連携した「カルピスナックスクール」等の工夫をしている。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.47	3.88	教材研究や環境整備を十分に行い、児童が力いっぱい運動できる授業を実践している。「陸上合同記録会」に向けて児童は熱心に練習に参加し記録を伸ばした。新体力テストの結果はどの項目も優れた数値を示している。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.12		「考え議論する道徳」を目指し、週に1時間の道徳の授業を大切にしている。道徳の授業公開は学校公開や授業参観において実施し、保護者や地域の皆様と内容の共有を図っている。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.12		「道徳の学級における指導計画」を作成し、教育活動全体を通し計画的に道徳性を育てている。各種行事等の際には機会を逃さず「努力」や「感謝」などの道徳性を育てるために丁寧に指導している。
	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.24		子どもにとって最大の教育環境は教師である。特に「挨拶」「言葉遣い」は教師自らも意識することを課題として、今後も指導を積み重ねていく。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.47	3.88	来校される方から「気持ちよくあいさつする子が多い。」と評価を頂いている。教職員が積極的に児童にあいさつをし、模範を示すことで、児童もあいさつができるようになってきている。
19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.24		各学級で学年に応じて言葉遣いについて指導をしている。間違った言葉遣いをしている児童にはその都度指導をするとともに、教職員が正しい言葉遣いをするよう心掛けている。	
生徒指導・管理の状況	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.41		不登校や問題行動に対しては、関係職員や管理職を中心に対応策を考え組織的に対応している。毎月の生徒指導・教育相談委員会においては校務支援システムに記録を残し情報共有している。全職員で不登校や問題行動を見守る体制ができている。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.47		電話や連絡帳、面談、学級通信等で児童の変容を伝え、家庭との連携を図っている。状況に応じて、保護者だけでなくスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや教育相談室等と連携を図り、指導にあたっている。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.82	3.63	児童・保護者からの情報や、毎月の「高州っ子心のアンケート」をもとに、いじめの早期発見・早期対応に努めている。担任・管理職・生徒指導主任を中心に組織的に対応をして、児童の小さな変化を見逃さないようにしている。
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.35		地震・火災・水害・不審者を想定した避難訓練を実施している。避難訓練の反省をもとに事故、トラブルに対応するための既存のマニュアルを随時見直している。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.47	3.86	毎月の安全点検を徹底している。管理職・事務職員・校務員が情報を共有して、修繕・交換等には即時対応し、安全対策に取り組んでいる。また、年度途中より盗撮防止の観点も踏まえた安全点検を行っている。交通安全指導については、帰りの会や一斉下校の機会に繰り返し指導している。
	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.35	3.50	今年度は「もくもく清掃」に意図的に取り組み、集中して清掃する児童を育成している。ゴミの落ちている環境づくりや清掃用具の片付けの徹底等をより意識して、環境美化を推進する。
26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.47		業務改善会議の定期的な開催を通して、業務改善策を出している。PTA、学校応援団の協力も得て働き方改革を進めている。昨年に比べて教職員の時間外在校等時間が減少しており、子供たちへのよりよい教育の実現のために、今後も働き方改革を推進する。	
家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.24	3.25	学校だより、学級だより、配信アプリを活用して教育活動や児童の様子や伝わるよう積極的に情報を発信してきた。ホームページの更新手順の確認を行い、学校ホームページの更新回数を増やしていく。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.29	3.50	保護者・地域の皆様や学校応援団の皆様には、大変お世話になっている。運動会、学校公開等、保護者に公開できる機会には積極的に公開している。「学校応援団」の皆様には、おはなしクラブ、ほっとしよクラブ、教科補助(ミシンボランティア、普遊び等)、イベントボランティア、スクールガード、みどりボランティア(樹木消毒等)のそれぞれの組織と連携して教育活動に取り組むことができた。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.35	3.38	朝の登校見守り、カーテン洗濯等、これまでの活動に加えて、アフタースクールや夏季休業中の宿題お助け講座を行っていただき、PTAの活発な活動には感謝している。地域育成会の地域パトロールも一緒に活動した。今後もPTA活動・地域活動との連携を継続していく。

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。